

議会だより

第92号
平成25年4月24日
(2013)
発行 山ノ内町議会
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穩3352-1
☎0269-33-1101 (有)2020
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp
議会ホームページは
「山ノ内町議会」で検索!!

山ノ内町議会 検索 

もくじ

第1回定例議会関連記事・	
条例の制定・一部改正	20
平成25年度予算審査	22
議会報告会・議会全員協議会・議会活性化研究会	23
オリンピック等東京招致応援決議	24
一般質問内容	25
町政キャッチボール・編集後記	26
	32
	33

平成25年 第1回定例会(3月議会)

平成25年度 各会計予算を可決

平成25年第1回山ノ内町議会定例会は、3月4日から22日までの19日間にわたって開催されました。

本会議では専決処分の報告、24年度補正予算、条例制定及び一部改正、25年度一般会計をはじめ各特別会計、事業会計予算、人事案件では人権擁護委員の推薦

など30件の議案を審議し、条例制定案1件を否決、1件を修正議決した以外は原案どおり承認、同意、可決しました。

また、陳情1件は継続審査とし、一般質問には14議員が登壇して小学校統合問題、防災対策や医療・健康増進策など45項目について町政を質しました。

24年度一般会計 補正予算 (第5・6号)

除排雪経費に不足が生じたため7千50万円の増加や国民健康保険特別会計へ経営健全化繰出金として2千500万円などの追加がありました。収支それぞれ3千474万5千円を減額して総額を61億246万3千円とする補正です。



大改修されるほなみ保育園

条例の制定・一部改正

*町をきれいにする条例の一部改正

放置された自転車等に限り、所有者が勧告、命令に従わない時や連絡先が不明な場合は行政代執行法に基づき町がその移動または処分ができることを現条例に加えたもの。

*町特別職等の給与に関する条例の一部改正(議会運営委員会発委)

町議会議員の報酬10%カットを25年度も継続するもの。ほか7件も原案どおり可決しました。

修正議決した条例

(注) 発委委員会が提出する議案

*水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定

国の法改正によるもので、町では水道技術管理者は布設工事監督者にもなれることになりましたが、専攻学歴や実務経験年数で基準の整合性がとれないので審査付託を受けた観光経済常任委員会が修正案を提出。全員の賛成で修正可決しました。

みなさんからの陳情

第1号 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求め、陳情書
審査結果 更に慎重な審査を必要とするため、継続審査

人事

人権擁護委員の候補者の推薦
氏名 堀越 康宗(ほりこし やすむね)
住所 大字夜間瀬2101番地
任期 法務大臣の委嘱の日から3年

社会文教
常任委員会
提出の

修正案賛成7人 原案賛成4人 でいずれも賛成少数 町立小学校統合問題審議会条例

小学校統合について教育委員会は、28年度から4小学校を1校に統合したいと方針を示していますが、これまで議員の一般質問で答弁はあったものの議会への説明、協議はされないまま3月議会に「町立小学校統合問題審議会条例」が上程されました。

条例審査の付託を受けた社会文教常任委員会は、教育長にも出席を求めて審査した結果、審議会委員構成の一部を修正して本会議に提案しました。

本会議では多くの質疑、討論があり、はじめに修正案の採決は賛成議員7名で少数により否決。続いての原案に対する採決は賛成議員4名の少数で否決。結果、修正案、原案ともに否決となったわけですが、小学校統合問題そのものがなくなったということではありません。

小淵議長は、両案否決を重く受け止め、あらためて全議員で小学校統合問題について意見交換を行うべく、1回目として4月5日に全議員による議員協議会を開催しました。今後は教育委員会と懇談の場を設ける考えで進めています。

町立小学校統合問題審議会条例修正部分

原 案	修正案
第3条 審議会は、委員36名以内で組織する。 (1) 小学校及び保育所の児童の保護者代表 (2) 子ども育成連絡協議会代表 (3) 女性団体やまのうち代表 (4) 学校長 (5) 区長会代表 (6) 児童委員代表 (7) 公募委員 (8) その他教育委員会が必要と認める者	(3)(4) を次のように改める。 (3) 学校長 (4) 議員代表



注目が集まる東小学校

修正案賛成議員

山本良一、高山祐一、湯本市蔵、山本二三、児玉信治、小根澤弘、渡辺正男
修正案に賛成しなかった議員
 小林克彦、徳竹栄子、高田佳久、黒岩浩一、西宗亮、布施谷裕泉、田中篤、望月貞明
原案賛成議員
 小林克彦、徳竹栄子、西宗亮、布施谷裕泉
原案に賛成しなかった議員
 山本良一、高山祐一、湯本市蔵、山本二三、児玉信治、小根澤弘、渡辺正男、高田佳久、黒岩浩一、田中篤、望月貞明

修正案反対・原案賛成

討論 小林 克彦議員

教育委員会は、町内13か所で説明会を実施し、今後さらに各小学校・保育園の保護者に説明を重ねた後に内容を最終決定して諮問する、としております。これから原案は諮問のための手続きであること、また議会のこれまでの各審査意見にも沿ったものであり特段の瑕疵もなく賛成。修正案の特定者の除外と議員を加えることは、共に恣意的で合理的理由もなく反対。

討論 徳竹 栄子議員

事前に行われた女性団体やまのうちとの懇談会の意見を聞き委員として公平な審議ができないと判断し、当該団体を削除する理由とした事は理解し難い。また、女性団体のみ団体名でなく個人参加という説明では他の委員団体と整合性がとれない。議員は最終判断する立場で入るべきでない。あり方委員会、教育懇談会等の経過や現状の教育環境から審議会条例は急ぐ必要がある。

修正案賛成

討論 湯本 市蔵議員

付託された常任委員会が全員一致で決めたことが、本会議で否決されるということは、記憶にありません。今回の条例と、あり方検討委員会の違いは、議会代表がなくなり、女性団体やまのうち代表が3番目に特記されたことです。女性団体やまのうち代表は、(7)の公募委員、(8)のその他教育委員会が必要と認める者ということで十分参加できるの修正に賛成です。

修正案・原案共に反対

討論 黒岩 浩一議員

①修正案は、議案の理念等の基本問題に触れずに、審議会委員構成や審議運営の仕方など細目にこだわった中途半端な案であり、賛成できない。
 ②原案は、「まず統合ありき」と前のめり過ぎ。児童生徒と町のためには何が良いのか、本質的な教育論をもっと重ねる必要あり。また拙速を戒める議会論議を全く無視した姿勢も遺憾である。

「町の元気、暮らしサポート予算」

一般会計 総額59億7,700万円

— 予算審査特別委員会 —

平成25年度予算審査は、3月8・11・12日の3日間、16名の委員で構成された予算審査特別委員会（委員長 児玉信治 副委員長 黒岩浩一）を設置し、第一部会は総務常任委員会5名、第二部会は社会文教常任委員会6名、第三部会は観光経済常任委員会5名の3部会を構成し、所管課の説明および資料の提出求め、細部にわたり慎重に審査しました。本会議で採決の結果、一般会計では賛成多数、他会計では全会一致で可決しました。また討論は、一般会計で反対1名、賛成1名でした。



未来を担う子どもたち

ランの推進を!!

部会意見

▼一般会計▲

《総務費》

○第5次総合計画実現に向け、定住促進事業をはじめまちづくり重点アクションプランをさらに取り組むこと。

《徴税費》

○収納管理システムの導入・活用により滞納の減少に努めるとともに、より納付しやすいシステムの構築を研究すること。

《民生費》

○人権尊重社会の確立と、男女共同参画社会の実現に向けて積極的に努力すること。
○婚活支援は、人口増進策として行政が積極的にかかわり、新たな施策・企画を検討実施すること。

《衛生費》

○ごみ減量のため、事業系一般ごみを含め啓発活動を推進すること。
○各種健（検）診方法の周知徹底をはかり、受診率向上に努め、心と身体の健康づくり

を推進すること。
○北部診療所など地域医療体制の早期確立に向けて、一層努力すること。

《商工費》

○観光地としてふさわしい公衆トイレのあり方を検討し、計画的に整備充実に努めること。

○最終年度にあたる観光交流ビジョンの成果の検証、評価を行い、今後の施策に活かすこと。

○観光関連団体との連携、協力体制のあり方について抜本的に検討すること。

○中小企業金融円滑化法の失効にともない、町の制度資金については資金需要等を考慮し、的確な対応に努めること。

《農林水産業費》

○有害鳥獣対策を総合的かつ組織的に推進すること。

○戦略性をもった地域農業マスタープランを作成し、実効のあるように取り組むこと。

○6次産業化施設整備事業の計画具体化にあたっては、民間の意見を取り入れること。

《土木費》

○公民館・公会堂等の避難所耐震対策は、速やかに進めること。
○災害防止のため、治水・砂防事業をより一層推進すること。
○除雪も含め、通学路として使用する道路の安全対策を推進すること。

《消防費》

○危機管理体制の強化と町民意識の啓発をはかること。

○常備消防と非常備消防の連携をさらに密にし、防災力強化をはかること。

○地域防災力向上のため、自主防災組織の育成強化をはかること。

《教育費》

○小学校の統廃合については、適正配置の観点を含め、広く情報公開をし、町民の意見を聞き、民主的に検討すること。

○社会体育施設については、早急に整備計画を明確にすること。

○ロマン美術館の入館者増を目指した計画を完全に遂行すること。

《商工・農林・土木費 共通》

○道路及び公園等の施設の維持管理に万全を期すこと。

総括意見

―抜粋―

未来を担う子どもたちのために

25年度一般会計予算の総額は、59億7千700万円、前年度に対し1千100万円の増である。〈歳入〉 町税収入は、景気の低迷などで0.6%減の18億675万円、地方交付税は1.0%減の19億3千万円、町債は前年度比7千520万円増の7億8千950万円を見込んでいる。

〈歳出〉 町の最重要課題である人口増施策は、定住促進事業として家賃補助、住宅改築支援や償還免除の奨学金貸付事業を計上しているが、U・イターンのサポート体制として空き家利用促進策などを推進されたい。

観光振興では、観光振興事業、宣伝費を計上しており、インバウンドの推進やユネスコエコパークなどを活用し国内外からの誘客に期待したい。商工振興では、引き続き制度資金保証料・利子補給金を計上し、中小企業の経営安定化を図っている。

農林水産業では、青年就農給付金、ブランド農業生産振興対策事業、有害鳥獣駆除費を計上し、産業の活性化を図

っている。また、魅力ある農業のアピール、基盤整備の推進、若者就農の拡大、6次産業化事業の中での商品開発、販路拡大の取り組みにも期待したい。

未来を担う子どもたちのための教育や子育てでは、国際感覚を養えるように英語を母国語とする教員を小学校に配置する国際理解教育推進事業や、子育て支援相談員を加配するなど新規事業に取り組む姿勢は評価できる。また、ほなみ保育園の大改修とよませ保育園の設計は、子育て支援や若者定住支援の見地からも妥当であり、設置予定の太陽光パネルは、新エネルギーの活用として注目したい。

衛生費では、各種健（検）診費用を計上しているが、年々医療費が増大しており、受診率向上に向けて更なる努力が必要である。

まとめに、平成25年度は、第5次総合計画における前期基本計画の中間年であり、重点アクションプランの進捗状況を検証し、かつ積極的に推

まちづくり 重点アクション

▼特別会計▼

国民健康保険(事業勘定)

○保険税の収納率向上にさらに努めること。

○特定健康診査・特定保健指導については、目標値達成に向け努力すること。

介護保険

○介護予防を充実させるとともに、利用状況や希望を的確に把握し、サービス提供には万全を期すこと。

公共下水道事業

○加入率・接続率の向上をはかり、特に補助を受けた合併浄化槽設置者には早期に接続を求めること。

○使用料及び分担金の滞納解消に努めること。

農業集落排水事業

○接続率の向上をはかり、特に補助を受けた合併浄化槽設置者には早期に接続を求めること。

▼水道事業会計▼

○濁り防止等水質管理に万全を期すこと。

進する一方で、行財政全般の事業評価を行うなどして行財政改革を着実に進める必要がある。また、人口増施策において最大のポイントは、雇用の維持・創設であり、基幹産業の観光・農業の活性化および新規産業の誘致のための長期ビジョンが必要である。まちづくりの基本理念である「住む人、訪れる人に温もりのある郷土」の実現を目指し、予算の効果的な執行を期待する。



健康診査

賛成討論

山本二三議員

厳しい財政状況の中、きわめて堅実な予算であることは、すなおに評価したい。

その上で、町を活性化させるためには、予算のバラマキではなく、ムダな経費を削減し、「事業の選択と財源の集中」による、いわゆる改革を断行することがきわめて重要である。25年度予算が、総合計画に掲げる基本理念実現のため、実効性のある事業執行につながることを大いに期待する。

反対討論

渡辺 正男議員

福祉乗車券の対象年齢5歳引き下げ、子育て支援相談員配置、公民館活動の団体育成補助金の拡充、小学校体育館天井耐震診断、公会堂等の耐震診断、教育コーディネーター配置等は評価する。しかし、嘱託・臨時職員の処遇が不十分。6次産業施設、体育施設等整備の具体化がない。地域活性化策、配偶者対策に積極的でない。職員主体のエコツアー実行委員会への負担金には問題がある。

「ここが聞きたい！」

第6回 議会報告会

メインテーマ 「少子高齢化とどう向き合う」

1月20日の北部会場を皮切りに、2月1日の東部下会場まで5か所において議会報告会を開催しました。

ご協力をいただいた関係各位並びにご出席の皆様には、厚く御礼申し上げます。

日	会場	参加者
1/20	北部公民館	40名
1/24	和合会館	21名
1/27	ほなみふれあいセンター	24名
1/30	よませふれあいセンター	38名
2/1	文化センター	13名



北部公民館会場



よませふれあいセンター会場

北部会場最多参加者40名

今回のメインテーマと小学校統合問題がリンクして、活発に議論が交わされました。

今後の議会活動の糧にさせていただきます。

結果につきましては、4月中には各会場にて閲覧可能にさせていただきます、並びに議会ホームページに掲載いたします。

議会全員協議会報告

第2回

3月4日、本会議初日終了後以下の項目の報告がありました。

- ・山ノ内町の財務書類
- ・山ノ内町地域広域交通計画
- ・オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致応援
- ・観光連盟職員不祥事問題

第3回

3月22日、本会議終了後報告以下の項目の報告がありました。

- ・いきいき健康増進プランやまのうち
- ・第2次特定健康診査等実施計画
- ・志賀高原ユネスコエコパーク
- ・「平成24年度消防団員の実情意識アンケート」集計報告
- ・地方税の一部改正
- ・志賀高原スキー事故

議会活性化研究会

議会のさらなる改革を求めて

第24回（2月19日）

- (1) 議会報告会について
 - ・議会報告会の総括
 - ・議員報酬について
 - (2) 現条例の減額期間（1年延長）
 - (3) 審議会出席者報告
 - (4) オリンピック・パラリンピック東京招致応援決議について
- ※地域の元気臨時交付金説明

第25回（3月28日）

- (1) 議会報告会について
 - ・議会報告会の総括
 - ・審議会出席者報告
- (2) 諮問事項の協議
- (3) 諮問事項の協議

第26回（4月16日）

- (1) 諮問事項の答申
 - ・議員定数（16人を14人に）
 - ・議員報酬（1割カットを1年延長）
 - ・兼職兼業禁止（全議員抵触なし）
- 継続審議
- ・議会基本条例
 - ・その他の活性化事業



児玉議運委員長から小淵議長へ答申（4月16日）

議会議員協議会

4月5日・18日、小学校のあり方と議会の今後の対応について

2020年オリンピック・パラリンピック東京招致応援決議

3月22日、議会最終日、高山祐一議員が同会派6名の賛成議員の連名で発議第1号「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致応援に関する決議」を提出し、全員賛成で可決、決議しました。

(注) 発議＝議員が議案を提出すること

オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界の人々に、スポーツを通じ夢と感動、希望や勇気を与えるとともに、人々の交流を通して世界平和の実現に寄与してきた世界最大のスポーツの祭典である。2012年夏、ロンドンで開催された両大会において、日本選手をはじめとする世界のトップアスリートが活躍し、我々に感動や勇気を与えてくれたことは、記憶に新しいところである。

東日本大震災からの復旧、復興に取り組んでいる我が国にとって、2020年にオリンピック・パラリンピック競技大会を開催することは、復興に向け全力で取り組んできた日本の姿を世界に示し、世界中から寄せられた支援に対し感謝の気持ちを表す機会ともなる。

山ノ内町は、1998年長野オリンピック冬季競技大会でアルペンスキー競技、スノーボード競技を、パラリンピック競技大会ではアルペンスキー競技の開催地となり、開催時には国内外の多くの人々のご支援・ご協力をいただきその成功に貢献した。また、東京都足立区とは友好自治体として交流している町である。

よって、山ノ内町議会は、2020年第32回オリンピック競技大会並びに、第16回パラリンピック競技大会の東京招致を心から支持するとともに、招致活動を支援し、積極的に協力するものである。

以上、決議する。

平成25年3月22日

山ノ内町議会

1998年長野オリンピック・
パラリンピックの感動をもう一度

がんばれ！東京



情報物産館に掲げられた横断幕

一 般 質 問

子どもの将来のため

学力向上に一層の努力を

田 中 篤 議員



質問 学力の現状と向上対策を講じているか。

教育長 先生、保護者の力で着実に身に付けている。さらなる学力向上のため、先生の指導力研修を進め、また町単独で加配もしている。来年度は小学校に外国語指導助手の配置をして国際理解教育を推進し学力向上に役立てる。

質問 学力が教育の成果の大きな指標だが、進学対象となる近辺の高校の偏差値を知っているか。

教育長 よく知らない。

質問 教育に携わるものとして不勉強ではないのか。この近くの高校の偏差値は高くない。知らないでは指導を誤り、結果として子どもたちの将来が失われると思うが。

教育長 偏差値は学力をはかる指標の一部分だと思っ

ている。知的な学力のほかに、テストではかれない力もある。教員には、子どもたちが自信と自尊心を持つて未来に羽ばたけるような教育をしていただきたい。

質問 学力の低さを理由づけして言い逃れしているように感じる。親の所得は下がり続けている。才能のある子に可能性を断念させないためにも、国立の大学等比較的安い学費で良質な環境を手に入れる学力を持たせることも教育者の義務ではないか。

教育長 偏差値は全てではないといったが、学校で知的な学力をしつかりつけるのは大事だと考えている。

質問 長野県の学力は全国的にも低い。教育者の努力で安い学費で才能を伸ばす良い環境を手に入れられる学力をぜひ身につけさせてやっていただきたい。



山ノ内中学校
卒業後の進路は

北陸新幹線開業に向けての取り組みは

小 根 澤 弘 議員



町長 信越9市町村広域連携会議の中で飯山駅開業に照準を合わせ事業展開がなされている。特に飯山・野沢温泉・山ノ内・木島平と4市町村が中心になりどう進めるか検討している。

質問 北陸新幹線開業に向けた体験型ツアーや、着地型商品を作っているのか。
観光工課長 信越観光圏や9市町村の中でも検討している。4月〜6月に向けての商品として「食とスノー



観光の活性化につながる新幹線飯山駅

モンキー」で中野市のサクランボ食べ放題とバラまつり、それと山ノ内町のスノーモンキーとで中野市・山ノ内町の連携の一つとして商品化を進めて開業までに定着するように取り組んでいる。

質問 着地型商品や滞在型商品を利用してもらうには2次交通が一番必要だと思いが連携会議での進捗状況はどうか。
観光工課長 山ノ内町とすれば湯田中から飯山駅をつなぐ2次交通がぜひ欲しいと要望をしているが、部会の中では意見が一本化で

きない状況である。町と連携で進捗を見ていく。
質問 町として独自に湯田中駅と飯山駅を結ぶ2次交通の考えはできないか。
町長 これからは、飯山市を中心とした広域観光と、中野市や小布施町と一緒になった広域観光だ。お客様ニーズを的確に把握しながらニーズに沿った受け入れ態勢を整え今後もさらに業界と一緒に考えていく。
その他の質問
○十二歳以下の子供へのインフルエンザ予防注射の補助の考えは
○小学校統合問題について

小学校統合問題の中で特別

支援教育の充実も是非

西 宗 亮 議員



発達障害児の支援教育は

質問 小学校統合問題の中で、特別支援学級についての検討はされてきたか。

教育委員長 今まではないが、これからは当然検討していかなければならない。

質問 統合した場合の必要学級数で、特別支援学級数は現在の東小学校にある支援学級数と同じ2学級しか考えていないのか。

教育長 状況に応じて学級数も支援員も増やして子どもたちの成長を考えなければならぬと思う。

有害鳥獣対策で猟友会への更なる支援を
質問 有害鳥獣対策で大変貢献していただいている猟友会の活動に更なる助成と危険防止も含めて、活動状況など、町民向けの広報及び捕殺後の解体処理場を設けられないか。

農林課長 免許取得時や個体処理に関して補助をしている。また、町民に一層理解を深めてもらえるよう、さらに広報等も努めていく。

町長 町では単独で解体処理施設を持つ意思はないが、引き続き県のほうへ要請をしていく。

外国人向けに親切な案内を

質問 外国人観光客が増えている中で、トラブル未然

防止の視点からも通訳ボランティアの方に任せるだけではなく、守って欲しいマナーも含めた親切で分かりやすいマップなどが必要と思うが。

観光商工課長 まず業界の皆さんに外国人観光客のニーズをしっかり把握してもらい、よく連絡調整を図りながら25年度の作成予定に反映させていきたい。



症状に適応した支援教育を望む小学校

消防団員数の不足をどう考えるか

望 月 貞 明 議員



消防課長 消防団の定員359名、欠員は7部で23名となっている。

町長 団員の勧誘は団幹部や各区に働きかけ、企業にも協力を要請している。将来の人口減を見据え、組織のあり方、団員の負担軽減策などを早急に検討したい。

質問 町外勤務の消防団員数はどれくらいか。

消防課長 団員の約60%、200名くらいは町外勤務と承知している。

質問 昼間の地域防災力補強のために、退団者も動ける体制整備を。

消防課長 常備消防の整備で通常火災は署員で対応可能だが、初期消火、水場案内、非常線設定で地元の協力体制が必要。よく検討したい。

高齢者世帯の防災は

消防課長 一人暮らしの高齢者には民生委員などの協力を署員が回って防火指導を行っている。今後、高齢者世帯への指導も進めたい。

道の駅の拡充計画は

質問 EVスタンド、トイレや面積の拡充は。

町長 道の駅は増設してきた。小規模ながら効率的経営で黒字である。EVはこれから普及が期待され、当地は充電の適地とされる。拡充は関係者と十分話し合い、総合的に検討していきたい。

有害獣駆除に助成を

質問 猟友会と地域住民が共同で行う、追い込みの有害獣駆除に助成を。

農林課長 寒沢で行っている事業だが、町で助成ができるかを検討し、県にも要望していきたい。



消防団も活用できるスペースを確保した新庁舎

崩落危険箇所の早期改良を

児玉信治議員



町長 町民の生命・財産を守ることは行政として最も重要な課題であると認識している。

建設水道課長 一級河川角間川の角間橋の上流の堤防については、斜面の一部に未改良箇所があり、湯ノ原地区等から改良の要望をいただいている。昨年6月には北信建設事務所による現地調査も実施した。県では人家など保全対象への影響等緊急性を考えて、順次優先される箇所から整備を進めている。当面は昨年実施した、河川内の支障木伐採や河床整備など適切な河川維持管理を行い流下断面を確保することにより災害防止に努めていきたい。

農林課長 北原新せぎの危険箇所に対しては、県の治山事業を要望している。現地確認も県では行っており

実態は十分承知している。事業実施には至っていない。引き続き要望していく。

質問 地方紙に、町の中心部にある平穏木材跡地の活用方法についての提言が掲載された。町として、どのように考えるか。また観光・商工面での利用をした場合、減免措置は可能か。

町長 今までも、イベント広場とか駐車場にどうかと

の話があった。それだけ魅力的な場所であると理解している。利用方法についてはいい知恵、アイデアを、それから運営体制、施設体制等十分検討して欲しい。減免については、現在、電鉄の土地については固定資産税は非課税にしている。
その他の質問
○医療費軽減対策について
○町内に於ける環境整備



角間橋上流の危険箇所

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致応援を

高山祐一議員



質問 1998年長野オリンピック・パラリンピックの会場となった町として、2020年東京大会の招致運動に応援すべきと考えるか。

町長 阿部県知事の要請で長野オリンピック・パラリンピック競技大会の会場となった5市町村長が一堂に会し、招致運動が成功するように、全面的に応援するため共同アピールを3月1日県庁で記者会見を行った。



世界的に有名なスノーモンキーで誘客を

今後は、議会として招致応援決議も大切と考えている。

質問 2020年オリンピック時の観光誘客手段として布石を打っておくべきと考えるか。

観光商工課長 誘客展望については、総合計画や観光交流ビジョンに基づいて行っている。世紀の祭典オリンピックの期間中となれば世界中から来訪客が急増するものと考えている。当町は世界的に有名なスノーモンキーや志賀高原ユネスコエコパークが誘客にとってアピール度が高いものと理解している。

角間橋上流左岸堤防危険箇所について

質問 角間ダム建設の結論が出ない今、流域住民の生命財産を守るため、町の最優先課題として取り組むべきと考えるか。

町長 町民の生命財産を守るため、最優先課題と考えている。角間川の出水については県営ダムの建設が最も有効と考え、河床整備等も含めて県に要請しているところだ。

その他の質問

○特定健康診査について
○消防危機管理体制について

東小の一部が防災マップで レッドゾーンだが 山本良一 議員



の核にできないか。

はあるか。

質問 東小の一部がレッドゾーンだが問題はないのか。
総務課長 土砂災害特別警戒地域、町の防災マップで一部が入っている。これは東小裏山が30度以上の傾斜度であることから指定となっている。直ちに崩落する危険な区域とするものではないが、大雨等の時は、注意する必要がある。

町長 ミニパークは、歩行者及び地域住民の憩い、語らう場としての役割があり地域の子育て支援及び高齢者福祉の面からも有効。第5次総合計画でも子供の遊び場の拡充が明記されている。具体的な設置や管理については自助・共助・公助の観点で地域としての取り組みもお願ひしたい。
質問 高額医療費について税未納者に対する救済対策

健康福祉課長 高額医療費は、被保険者の国保税を柱に給付しているので税の公平性から、給付後速やかに税金に充当していただくようお願いさせていただいているが、自己負担額の支払いが困難な方には、町社会福祉協議会の高額医療費貸付制度が利用でき、高額医療費の給付額を上限として無利子で借入れできる。



東小体育館裏山

質問 集落ごとにミニパークを設置し、コミュニティ

エコサイクリング イベントの事業評価は

渡辺正男 議員



観光商工課長 情緒ある温泉街や田園風景を自転車で満喫していただくとうと、すでに3回リングの爽りの時期に開催してきた。サービスクラス内容、コースなど改良を加えてきた。参加者が60人前後と低調であり、運営サイドとしては残念な状況。25年度は、大幅に見直し、要望の多い志賀高原を舞台にと考えている。
質問 これまでの3回の内容と事業費、参加者数は、
観光商工課長 22年度は、



昨年のエコサイクリングイベント「チャリ旅」

観光商工課長 情緒ある温泉街や田園風景を自転車で満喫していただくとうと、すでに3回リングの爽りの時期に開催してきた。サービスクラス内容、コースなど改良を加えてきた。参加者が60人前後と低調であり、運営サイドとしては残念な状況。25年度は、大幅に見直し、要望の多い志賀高原を舞台にと考えている。
質問 実行委員会の開催回数と当日のスタッフ構成は、
観光商工課長 前回の総括と合わせて1回。スタッフは職員が中心で、他に2、

2日間で130万円かけて延べ50人。県の「元気づくり支援金」の活用でのぼり旗や誘導案内看板の整備ができたという効果があった。23年度も2日間、82万円をつかい、延べ50人くらい。参加料を下げ、距離を13キロから20キロに延ばした。24年度は、1日で95万円かけて53人。参加料をさらに下げて距離は15キロと40キロと二つ設定した。
質問 実行委員会の開催回数と当日のスタッフ構成は、
観光商工課長 前回の総括と合わせて1回。スタッフは職員が中心で、他に2、
その他の質問
○嘱託・臨時職員の処遇は
○小学校統廃合について

統合問題が提起されている今こそ 幅広い教育論議の展開を



布施谷 裕泉 議員

質問 統合を前提とした統合審議の前に教育審議会を立ち上げるべきではないか
教育長 統合審議に先立つての課題・分析等の研究は考えていないが、審議会の中では外部の意見を取り入れることも含めて論議していただきたい。

質問 活性化のためにも、山ノ内町で教育を受けさせたいと思ってもらえるような教育立町を目指してほしい。
質問 町営診療所についての判断は。

町長 将来的な医療体制の確保や採算ベースの問題により町営形態での診療所運営は難しい。
質問 採算については今回行った町の簡易的な試算・北信病院の試算ともプラス

と出ている。また昭和39年に制定された町の診療所条例には適正な診療を行うために診療所を設置するとあり、名称も山ノ内町健康保険北部診療所と明記されている。今回北志賀で開業の意思を示された先生が嘱託希望に変わったとしても、受け入れるべきではなかったか。

町長 町として再三北信病院に要請し、医師の派遣の方向での合意は得ている。
副町長 意欲を燃やして応募してくる方に充分考慮し要綱を作りながら進めたい。
質問 空き家利用について民間を含めた移住推進協議会の立ち上げを提案したい。
総務課長 いい考えだと思う。



区の嘆願書も提出され再開が切望される北志賀診療所

町長の政治姿勢など

黒岩 浩一 議員



質問 当町観光立町推進上の問題点は。

町長 草津の様に、行政・業界のみならず町民あげてのおもてなしの心が必要。
質問 現状は町内も観光組織も意識バラバラ。以前あった官民一体の観光局設置案などどうなったか。

町長 歴史的に色々ありむずかしい問題。観光連盟は役場観光課と同じ場所で開催する案、商工会の観光部会化する案などもあったが、業界の意見がまとまらない。
質問 町長は気配り目配り



の内向き指向で憎まれ役を避ける傾向だが、町長が憎まれ役として奮勇を振るわねば改革はできないのでは。
町長 それも一つの手とは思いますが今少し推移を見たい。
副町長 観光組織が機能していない。危機意識がない。

小学校教育問題
質問 当町の教育理念は。
教育長 豊かな自然、伝統文化など町の宝を理解し活かす「山ノ内らしさ」の教育。
質問 豊かな自然等は信州ならどこにもある。富山県などを参考に、詰め込みよりも考える力の養成を図り

全国の学力テストでの成績が向上すれば、教育立町で若者子どもを呼び込める。
教育長 知と徳の調和の取れた学力が必要。
質問 小学校「統合問題」審議会設置条例議案が上程されているが、統合に決めるのでなく「教育問題」審議会であるべきでは。また北小保護者の不安が大きいのであれば、H28年を待たずに現実的な解決策を。
教育長 諸般含めて早く結論をだしたい。
その他の質問
○人口減・定住・移住促進

空き家・廃屋の適正な 管理条例の制定を



徳竹 栄子 議員

管理条例の制定を

も大切な命をいただいている事に感謝する事を念頭に

質問 空き家・廃屋の管理不全により屋根の積雪の崩落、ガラスや建材の破片の飛散等危険な状態に、住民は所有者に注意や勧告もできず我慢している。観光客に対しても放置できない。この状況をどう考えるか。

町長 大変苦慮している。先進地事例等を参考に今後十分に検討していきたい。

質問 規約に基づき管理不全をくい止める助言、指導勧告ができる条例が必要と考えるが。

町長 条例を整備して町としてかかわる努力の一つとして大切と思う。空き家にならぬ方策と手立ても並行して考えていきたい。

有害鳥獣対策について

質問 「無私の協力」をいただいている猟友会の方々より解体処理施設の切なる要望がある。有害であつて

小谷村空き家等の適正管理に関する条例 (平成24年10月1日施行)

【基本方針】	
◇所有者等の責務	・空き家等が管理不全な状態とならないよう、適正な管理を行う責任を明示。
◇情報の提供	・情報の提供を呼びかけ、適正な管理についての関心が高まることを期待。
◇実態調査	・空き家等の情報に対し、実態調査を実施。
◇助言・指導・勧告	・空き家が管理不全な状態であると認められる場合に、所有者等に対し必要な措置について助言、指導、勧告を行う。
◇命令	・所有者等が必要な措置についての勧告に応じないときに、行政処分としての命令を行う。
◇安全代行措置	・所有者等が、指導・勧告等に対し「自ら必要な措置を講ずることができない」と申し出たとき、同意を得た後に所有者等の負担において安全代行措置を行う。
◇代執行	・所有者等が命令に応じないとき、そのまま放置することが著しく危険な場合には、行政代執行法の規定により代執行を行う。 ・所有者が通知できず、そのまま放置することが著しく危険な場合には、簡易の代執行を行う。

目的は管理不全の防止、地区の安全安心の確保、環境の保全

林道と森林整備について

町長 ご指摘の内容を確認してそれぞれ対応していく。○第6次産業について

町長 丸山中津川と倉下林道は、観光面、水源の保全

が重要で、観光面、水源の保全

町長 自分達自ら行い財政支援を要望する方法が良い。捕獲処理2万円補助、県に再三要望している。

道であるので整備を万全に。整備は計画的に対応したい。

質問 当町では森林税導入5か年間で間伐を25ha実施したが北志賀白沢の滝の木が

高く繁り流水が見えない。町有林であれば計画に入れ間伐すべきでないか。

道であるので整備を万全に。整備は計画的に対応したい。

が北志賀白沢の滝の木が高く繁り流水が見えない。町有林であれば計画に入れ間伐すべきでないか。

非常備消水防団の組織と活動の見直しを

高田 佳久 議員



質問 平成25年度の消防防災委員会では、非常備消水防団の組織と活動の見直しをメインの議題とし、諸課題への解決に取り組むべきと思うが。

町長 消防体制は、きちつとした方向を出していかなければいけない。喫緊の課題であるので、十分配慮して対応したい。

ユネスコエコパークの活用について

質問 ユネスコスクール

に加盟する上で、どのようシナリオを描くのか。教育委員長 世界的な組織だとするならば、国際的な交流も一つ。自分たちのふるさとの自然

・地域にも関心を持って非常に結構なシステムだと思ふ。

教育長 ユネスコエコパークのある学校として、自然保護・エネルギー学習・国際理解学習などを通じ、子どもたちの人格の発達や人間性を育むことができ、非常に有意義な活動になる。

質問 ユネスコエコパークを活用する上で、どのようなシナリオを描くのか。

町長 『志賀高原ユネスコエコパーク』というネーミングとエリアの貴重さを町民や多くの国内外の皆さんに理解してもらうことが大切であり、目先の観光や農

業の利益だけでなく、環境問題も含めて対応したい。

副町長 日本の小中学校のモデル校となる可能性もあり、教育の町として世界環境大会や研究施設の設置など、山ノ内町に来て環境を学べる。農産物は、ユネスコエコパーク内での作物がブランド化して広まればまちづくりの一助になる。

業の利益だけでなく、環境問題も含めて対応したい。

副町長 日本の小中学校のモデル校となる可能性もあり、教育の町として世界環境大会や研究施設の設置など、山ノ内町に来て環境を学べる。農産物は、ユネスコエコパーク内での作物がブランド化して広まればまちづくりの一助になる。



新たに防災拠点となる消防署

より積極的な配偶者対策を

山本 一二三 議員



質問 若者の3人に一人は
いわゆる「ひとり者」とい
われている。これは非常に
重大な社会問題である。結
婚したくても、そういう出
会いの場が無いという人の
ために、行政はより積極的
に出会いの場を提供するこ
とが大切だと思うが。

副町長 大切な問題だと思
っている。社会福祉協議会
を中心に活動しているが、
小さな単位では限界がある
ので、今後はより広域的な
組織活動が必要だと思う。

質問 入館者が年々減少し
ているロマン美術館の運営
を今後どうする考えか。

町長 せっかくなので、美術
館なので、地域の文化・
観光の拠点になるよう、教
育委員会を中心に、その効
果が上がるよう努力したい。
質問 公務員の退職金引き
下げが報じられたが、当町

での対応は。

総務課長 25年3月末退職
は現行通り。26年3月末退
職は約140万円減、27年3月
末は、約280万円減、最終段
階の28年3月末は、約40万
円減となる（勤続35年以上
の定年退職）。

質問 国家公務員給与も昨
年度から平均7.8%引き下げ
られ、地方も7月からこれ
に準じたカットを実施する
と見越して、地方交付税を

減額するが当町の対応は。
町長 これまでも総額の人
件費を減らすため、臨時職
員、嘱託職員などの対応を
含めて努力してきた。国か
らそういう形が出てくれば、
合わせてやっていく。

その他の質問
○国民健康保険の法定外線
り入れについて
○第6次産業の取り組み状
況について

星降る町でハートをキャッチ in 北志賀高原



秋身の方を対象としたイベントです。気軽にどうぞください。
今回は山ノ内町の資源「春山」と「温泉」で町コン！
大自然を満喫したり、ゆったり温泉に浸かり
貸切ペンションで美味しい食事を堪能してください。

25年3月23日に北志賀高原で行われた
婚活イベントポスター

広域的幹線道路網 整備の促進を、 特に宮停線

湯本市 蔵 議員



25年2月、期成同盟会で県建設部長に要望活動

建設水道課長 広域連合で
は、北信広域圏を一体とし
て観光および幹線道路網整
備の推進を図っている。平
成16年策定の調査研究書で
緊急に整備するものと位置
づけられた国道403号は、
北陸新幹線飯山駅開業に向
け着実に進めていただいで
いる。

質問 中期的（10年程度）
に整備を要する町路線は。
建設水道課長 県道湯田中
停車場線の上条・本郷集落
内、豊野南志賀公園線、野

尻湖志賀高原間道路の（仮）
千歳橋、宮村湯田中停車場
線の交通不能区間等である。
質問 この計画の他の自治
体部分はかなり進んでいる
が、町分は非常に遅れてい
ると感じた。宮村湯田中停
車場線の状況は。
建設水道課長 未改良区間
はトンネルで事業費がかか
り、順位が落ちてしまう。
質問 県への陳情に中野市
長が参加されたが。
町長 広域連合で湯本議員
から一般質問通告されたの
で、陳情に同行・現場も見
たいということであった。
質問 事業が進むには、中
野市とよく話をしてその意
向をくみながら、3者が一
体とならないと難しい。期
成同盟会長の町長にお願い
したい。年1回の総会の前
に、理事会で検討し、しつ
かりと進むべき方向を構築
してもらいたい。
町長 地元の皆さんの熱意
は承知している。高山村長
中野市長の意向も伺い、相
談させていたきたい。



町政キヤッチボール



町の動き・議会活動をお知らせします。
ご意見・質問など、どんどんお寄せ下さい。

皆様と議会との意見交換のページです。
匿名の場合は、年齢、職業、男女別を記入願います。
ご意見の送り先・届け先
役場議会事務局気付
広報常任委員会宛

「町内80歳の老人の繰り言ですが、頑張って下さい議会殿」との前置きつききの匿名投書で、左記3項目の厳しい質問をいただきました。

Q1 3月議会に提出される予算は来年度の町長の基本計画が盛り込まれているのであるから、本会議で予算に関する質問、討論、修正案提出等がもっと活発であるべきだが、突っ込みがきわめて少なかったのはなぜか。議員は十分勉強しているのか。

A1 多面的な問題を含みますので、3点に分けて回答いたします。
① 予算書の審査は膨大な作業なので、議会内に予算審査特別委員会を組織し、3部会に分かれて二日間かけて分担審査したあと、結果を持ち寄って「全体会議」で討議し、「各分野別の予算審査意見」と「予算審査特別委員長の総括意見」をまとめて、本会議で報告し、「議会だより」にも掲載しますので、さらに疑問があれば、次回ご質問ください。

② しかし、本会議では審査経過が見えず、結果の報告だけなので、ご心配の様な疑問が出るのはもつともです。せめて右記の「全体会議」を公開して町民の皆様が傍聴していただける様な工夫が必要と思われる、議会活性化の一環として今後研究します。
③ 予算が議会に提案される前の毎年11月に、向こう3年間の施策の大筋を示す「実施計画」が全員協議会で議会に提示され、そこで色々

議論されます。この全員協議会を公開にする等の工夫も必要と考えています。

Q2 議論を深めるために「行政側の反問権の設定」は結構なことだが、答弁のための議員の発言時間を増やさないと、また行政の答弁時間が無制限なこといずれもアンバランスでは。

A2 議員に配慮してのありがたい指摘であり、一部の議員からも同様の強い要望があります。反問権は目下試行段階なので、いま少し状況をみて決めたいと思います。

Q3 新幹線飯山駅オープンで劇的に観光客が増加するかどうかは疑問だが、地域イメージアップに利用する方法を考えるべき。当町としては、むしろこの機会に長野電鉄湯田中線の重要さをあらためて認識して「長野電鉄を残す基金創設」などを研究すべきでは。

A3 基金創設が適切かどうかは別として、湯田中線を絶対に守るべきであること、ご指摘通りです。電鉄と一層協力して、湯田中駅観光案内所設置、トイレ改修、夜間瀬・上条駅トイレ改修、町内案内看板充実など周辺環境整備を今後とも逐次推進し、また電車ダイヤ改正や路線バスの便の工夫等々、観光客、地域客両方の便宜を図って乗客増加に結び付けるように工夫したいと思えます。

編集後記

この号が発行されるころには桜の花が咲いていると思います。昔から桜の花は春の象徴であり、花の美しさと散り際の潔さを好まれてきました。卒業、入学等人生の転機には良く似合います。そして別れと出会いの思いをのせて詩和歌によまれて来ました。小倉百人一首の小野小町・伊勢大輔、また西行法師の辞世も見事ですが、私は唐の詩人の漢詩を井伏鱒二が訳したものが好きです。

この杯を受けてくれ
どうぞなみなみと注がして
おくれ
花に嵐のたどえもあるぞ
さよならだけが人生だ
花に嵐、人の別れとままに
ならないのが人の世です。別れを悲しむだけでなく、新しい出会いも大切に生きたいものです。

(田中 篤記)